

校友會々報

祖山學院開設以來全國に散働せる本學院在籍者の數は優に千を越すであらう。毛利氏ではないが現實の社會を動かすにはどうしても團結の力が必要である。すでに東京大阪中國の諸學兄は團結の力を認め校友會支部を結成して爲宗爲國不惜身命の聖訓を如實に實行してゐるといふ事である。かように支部が結成せられたのにもかゝらず未だ本部が明瞭でなかつた事は實に遺憾であつた。

おくればせながら昭和十一年の秋とりあへず身延在山の會員が惠善坊に集つて本部の會則を創作訂正し更に會則のつとり五名の常任幹事を選舉しこゝに本部結成の第一聲をあげたのである。いよ／＼本部を結成してみると第一考へさせられたのは本會の事業を何によつて運轉して行くかと云ふ事であつた。それは云ふまでもなく經濟力である。しかるに本部には何等の經濟力もなかつたのである。經濟力がなければ何もできない現代に生れた我

等は幸か不幸かわからないが、こゝで本部結成第一の難關にぶつゝかつたのである。今年から身延中學林を新設したので學生間には同窓會基本金をどうするかと云ふ問題が擡頭してゐた。時恰も四月初旬萬葉の櫻咲き匂ふ頃母校には例年同窓會大會が開かれた。俄然基本金問題が勃發した。遂に基本金七百圓は校友會へ移管し永久に記念塔として残す事に確定し大團圓となつたのである。

會報も今年度より發行したいと念願してゐたが成立も淺く會員諸兄の動靜も知るによしくわづかに會則を發表し、來年度からは大馬力をかけて會則通り會報を發行する豫定である。會報は幹事の會報でなく皆様御自身の會報だから支部や諸兄の動靜近況御住所等をハカキで結構ですから是非知らして頂きたい。

常任幹事 樋口是端 松木本興 遠藤是雄

林 是幹 岩田堯親

學生幹事 小崎龍雄 田中泰勳 難波智龍